

江里山地区で棚田ボランティア(平成 30 年度 2 回目)

西日本総合コンサルタント株式会社

当社は、9月15日(土)、佐賀県遺産の「小城市・江里山の棚田」において、棚田ボランティアで耕作放棄された圃場、畦畔等の草刈り作業を実施しました。

当社は、昭和46年創業の総合建設コンサルタントの会社であり、県農山漁村課の呼びかけで、平成29年3月に江里山地区と「棚田ボランティアに関する協定書」を締結し、平成29～31年度(3カ年間)、年2回(6月、9月)、の棚田ボランティア草刈り作業を計画しています。

当社は、社員数48名を4つに分けて、今回、大串正専務取締役はじめ15名が参加して今年・第2回目の作業を実施しました。

江里山地区は、棚田畦畔・法面に咲く赤い彼岸花が有名であり、9月23日に開催されるイベント「ひがん花まつり」の前のボランティア活動となりました。

江里山地区は、約230メートルの標高に位置し、既に、彼岸花が咲きだしてイベントを迎える準備が整っていた。土曜日でもあったため江里山散策の県内の方や福岡県の方、家族連れの方などが見えられた。今年も、ボランティア参加者から「黄金色に実った稲穂と、赤い彼岸花に心がいやされる」といった言葉が聞かれました。



(江里山地区の皆さんとボランティア参加者との集合写真)

当日は、朝方雨で作業が心配されたが、天気は回復しボランティア日和であった。地区の役員の指示で、2班に分かれて、既に耕作が行われていない棚田、5箇所、約20枚程度の田圃等を草刈り機によつての草刈り作業や鎌によるイノシシ防護柵のカズラ切りを行ないました。

昼食は、江里山地区公民館で美味しく頂き、昼食後、地元の方と社員との交流会を設け、棚田の魅力や棚田の維持管理、少子高齢化問題が出され、社員一人ひとりからボランティアで感じたことを話してもらい、若い社員から、また参加したいなどの意見が出された。最後に秀島徳男会長から「江里山彼岸花祭り」のイベント前の草刈り作業に対して、参加者へ感謝の言葉をかけていただきました。



作業前の挨拶（江里山地区・秀島会長）



西日本総合コンサルタント（株）大串専務





昼食（江里山公民館）



昼食後の意見交換会（↑左側：当社社員、

↑右側：江里山地区役員さん）





江里山の彼岸花・赤い花が咲き出していました。さわやかで美しい！